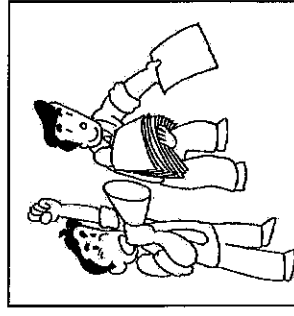




718号

〒144-0052 東京都大田区蒲田 5-10-2 日港
 福会館 5階
 Tel 03(3733)5621 Fax 03(3733)5622
 メール roren@kensu.jp
 ホームページ http://www.kensu.jp/
 全国検数労働組合連合
 書記局



11月25日(金) 第四回 検数労連22冬季一時金交渉

両協会 有額回答提示 日検協会 481, 909円 + α
 全日検 504, 266円 + α

要求未達につき、修正回答を求める。

【 日 検 協 会 有 額 回 答 】
1. 支給額 (1) 職員・雇員 (本給+家族手当) × 乗率 + 都市加算 + α (200, 609円 + 9, 813円) × 2. 10ヶ月 + 40, 022円 + α 全国平均 481, 909円 + α
(2) 使用期間中の職員 {(本給+家族手当) × 乗率 + 都市加算 + α} × 0. 8ヶ月 × 在籍日数 / 180日
2. 支給日 2022年 12月 9日
3. 支給対象者 2022年12月9日現在、在籍の職員、雇員
4. 計算期間 2022年6月1日より11月30日までとする。
5. その他の取扱いは、従来通りとする。
以上

【第4回交渉】

11月25日(金) 第4回 22冬季一時金交渉で両協会に対し有額回答の提示を求めました。

【全日検】

コロナ禍や円安、半導体不足等の影響によって主力取扱い貨物が減少している。また、その減少分を検査業務でカバーしきれていない。

政府施策である『パートナシッ プによる価値創造のための転嫁円滑化施策パッケージ』に基づき、顧客に対して料金折衝を行っているが進展していない。そのような

中で、最大限努力した回答であることを理解願いたい。

【日検協会】

2022年上期収益は、半導体不足や原材料の高騰、鋼材が国内生産へシフトするなど、収益が悪化するなかで損保等の検査業務で収入を補ってきた。そのような中で計画比未達の支部があったものの、昨今の急激な物価高騰の中で『従業員の生活を守る』ということを第一義と考え、精査した回答であることを理解願いたい。

【組合主張】

組合は両協会からの回答を受け

【 全 日 検 有 額 回 答 】
1. 支給額 (1) 職員 算式 (本給+役付) × 乗率 + 一律 + α 職員平均 (222, 791円) × 1. 824 + 97, 895円 + α 全国一人平均 504, 266円 + α
① 一律 = 1年以上5年未満 全国一律 90, 000円 10年未満 93, 000円 15年未満 97, 000円 20年未満 101, 000円 25年未満 106, 000円 25年以上 118, 000円
② α = 調整加算
(2) 勤続一年未満の職員 本給 × 2. 2ヶ月 (3) 準 職員 半年未満 全国一律 30, 000円 1年未満 60, 000円 5年未満 80, 000円 10年未満 120, 000円 10年以上 140, 000円 (4) 契約雇員 全国一律 160, 000円
2. 支給日：2022年12月9日(金) ただし、5銀行営業日前までの妥結意思表明を条件とする。
3. その他 (1) 支給日当日の在籍者に対し、2022年12月1日現在の身分給与により支給する。 (2) 支給計算期間について 2022年5月1日～2022年10月31日 (3) その他の取扱いは、従来通りとする。
以上

た後、次の通りの主張を行い次回交渉での修正回答を求めました。

【両協会に対して】

乗率上げは一定理解する。
生活防衛に向けた一時金要求算式が受け入れられず不満である。
本交渉でアルファ部分の回答が示されず不満である。
地域間格差を助長させる両協会のアルファ回答には反対である。
長年にわたり反対表明しているアルファ回答について、組合主張が受け入れられず不満である。
要求との関係では未達であり修正回答を求める。

【全日検に対して】

家族手当、地域年齢手当については回答算式に入っており不満である。
準職員、契約雇員の全国一律低額回答に不満である。
生活防衛の立場から北海道に対する『差別的』とみられる異常な格差回答の姿勢を改めるよう強く求める。

【日検協会】

一律部分が回答算式に入っており不満である。
都市加算が労組要求に応じた回答になっており一定評価できる。

※次回交渉：11月29日(火)
13:30～
修正を求めて交渉を行います。